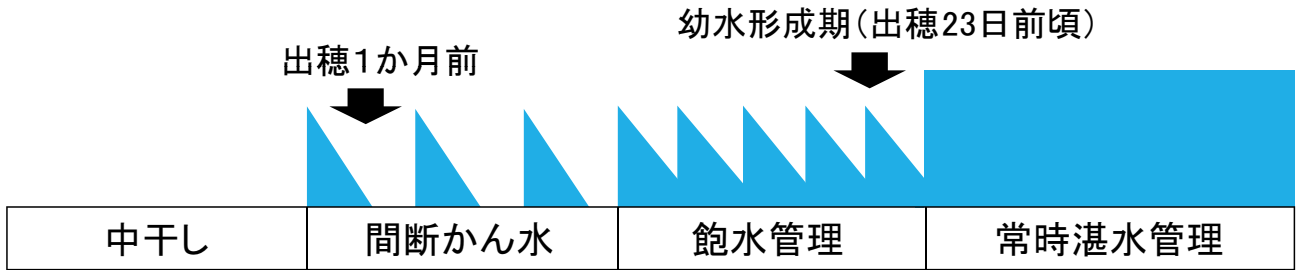




水管理の徹底で高品質のおいしい魚沼産コシヒカリを作りましょう!!

～コシヒカリ1等級比率95%必達～

中干し後の水管理イメージ



間断かん水：入水と自然落水を数日間隔で繰り返す

飽水管理：水尻は止水し、自然落水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が溜まっている箇所が見られる状態になったら、かん水する

常時湛水管理：水が減ってきたらかん水（高温時には水の更新や深水管理）し、常に湛水状態を保つ



基本水管理を徹底しましょう！

出穂1か月前に中干しを終了→間断かん水→飽水管理→常時湛水



水の入れ替えをしましょう！

水持ちが良く減水が少ない水田や水温が上がっている場合は水の入れ替えを行ないましょう。水温を下げるには夕方に落水し、朝に入水を行うことが有効です。



高温が予想される場合には…

台風によるフェーン時など、高温が予想される場合は、葉からの蒸散による脱水症状や強風による稲の傷みを防止するため深水にしましょう。



用水が不足する場合には…

用水が不足し、緊急時に深水管理が出来ないことが予想される場合は、あらかじめ田んぼに水を入れて出穂期以降は極力土壌のぬれている状態を保つよう心がけましょう。

稲作携帯メールサービスに登録して、生育状況やあぜ道指導会の情報を確認しましょう！

【登録専用アドレス】 **イナサク**
inasaku@ja-kitauonuma.com

登録用QRコード

